

# 令和4年度 教育部 施策展開方針 報告書

## 1. まちづくり政策(教育部関係分)

政策 06 子育て・教育	<b>政策展開の方向性</b>																																	
	<p>子育て環境を充実させることにより、安心して子どもを産み育てられ、就業と子育ての両立もできるまちをつくります。教育では、子どもたちが多様で変化の激しい社会を生き抜いていく力を養成することに主眼をおき、個性を尊重しつつ確かな学力の定着に努めます。安全で安心な教育環境の下で地域社会全体が連携し、次代を担う心身ともに健康な子どもたちを育てます。</p>																																	
<b>令和4年度の取組状況報告</b>																																		
<b>06-02 子どもの教育の充実</b>																																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、衛生用品の確保・配置等を行い、可能な限り感染リスクを低減させながら教育活動の継続に努め、児童生徒の安全・安心と学びの保障に取り組みしました。</li> <li>・「江別市小中一貫教育基本方針」に基づき、江別第二中学校区に小中一貫教育を先行導入しました。また、その他の中学校区では、中学校卒業時における「目指す子ども像」を学校・家庭・地域で共有しながら、教職員の合同研修の実施や、学習規律や生活規律を揃えた指導、中学校体験登校などの取組を試行し、令和5年度からの市内全中学校区での小中一貫教育の導入に向けた準備を進めました。</li> <li>・国が進める「GIGAスクール構想」に基づき、全学年に1人1台のタブレット端末を配置し、教職員へのサポート体制を充実することで、義務教育9年間を通じた系統的な児童生徒の情報活用能力育成を図るとともに、協働的な学びと個別最適な学びの一体的な充実に取り組みしました。あわせて、オンライン学習に必要な環境を整備し、ICTを活用した緊急時の学びの保障や平時の家庭学習に取り組みしました。</li> <li>・地域とともにある学校づくりに向けて、学校、家庭、地域の連携・協力を推進するため、学校支援ボランティアの全市の派遣を継続したほか、相互に連携して子どもを育てる持続可能な仕組みづくりのため、引き続き「えべつ型コミュニティ・スクール事業」を進め、地域による学校活動への参画を促進しました。</li> <li>・児童生徒が授業の内容を理解し、確かな学力を定着できるよう、学習サポート教員の派遣や外国語指導助手による授業支援など、一人ひとりの個性やニーズに応じたきめ細やかな教育に取り組みしました。</li> <li>・心身ともに健康な子どもたちを育成するため、市内大学との連携による出前授業や走り方教室の実施など、学校における体力向上の取組を支援しました。</li> <li>・学校における読書活動の充実を図るため、学校図書館の蔵書率向上を進めるとともに、情報図書館と連携し、司書の巡回配置と短期の集中的支援による図書整理など、教育活動の支援を行いました。</li> <li>・悩みを抱える児童生徒や保護者への支援充実のため、スクールソーシャルワーカーが学校・福祉・医療などと連携し、課題解決に取組んだほか、教職員に対して児童生徒理解のための研修を実施しました。</li> <li>・いじめの早期発見・早期対応のため、1人1台タブレット端末を活用し、市独自のいじめアンケートを実施しました。</li> <li>・不登校児童生徒の社会的自立に向け、適応指導教室「すぽっとケア」のスタッフを増員し、支援体制を強化しました。</li> <li>・特別な支援を必要とする児童生徒が適切な教育を受けられるよう、特別支援教育支援員の配置の拡充や施設整備を行ったほか、医療的ケアを必要とする児童を受け入れ、安心安全な学校生活を送るための支援を行いました。</li> <li>・令和4年度に札幌市に開設された公立夜間中学の周知及び通学を希望する市民への就学支援を行いました。</li> <li>・物価高騰により学校給食の原材料費が上昇している中、原材料を購入している江別市学校給食会に対して補助金を交付することにより、保護者負担を増やすことなく、栄養バランスや量を保った給食を提供しました。</li> <li>・「江別市立学校における働き方改革推進計画」に基づき、専門スタッフを適正に配置したほか、各学校に高速カラー複合機や留守番電話を設置するなど、教職員の働き方改革に取り組みしました。</li> <li>・地域活動団体等による青少年の健全育成活動を推進するため、体験活動やボランティア活動等の機会を確保したほか、育成団体等との連携・協働に取り組みしました。</li> <li>・小中学生を対象に、市の魅力を知ってもらうため、地域の住民団体やボランティア団体との協働により、新たに「江別の魅力「食」と「自然」を満喫できる体験型学習事業」を開始しました。</li> <li>・学校施設・設備の維持保全を図り、安全安心な教育環境を確保するため、「江別市学校施設長寿命化計画」に基づき、老朽化した設備の更新等を進めました。</li> </ul>																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>政策の成果指標</th> <th>単位</th> <th>(初期値)</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て環境が充実していると思う保護者の割合</td> <td>%</td> <td>44.6</td> <td>51.1</td> <td>50.9</td> <td>47.9</td> <td>↑</td> </tr> <tr> <td>教育施策に満足している保護者の割合</td> <td>%</td> <td>78.0</td> <td>90.4</td> <td>83.8</td> <td>82.8</td> <td>↑</td> </tr> <tr> <td>「生きる力」が身についた児童・生徒の割合</td> <td>%</td> <td>81.7</td> <td>—</td> <td>80.9</td> <td>81.9</td> <td>↑</td> </tr> </tbody> </table>							政策の成果指標	単位	(初期値)	R2年度	R3年度	R4年度	目標	子育て環境が充実していると思う保護者の割合	%	44.6	51.1	50.9	47.9	↑	教育施策に満足している保護者の割合	%	78.0	90.4	83.8	82.8	↑	「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	81.7	—	80.9	81.9	↑
政策の成果指標	単位	(初期値)	R2年度	R3年度	R4年度	目標																												
子育て環境が充実していると思う保護者の割合	%	44.6	51.1	50.9	47.9	↑																												
教育施策に満足している保護者の割合	%	78.0	90.4	83.8	82.8	↑																												
「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	81.7	—	80.9	81.9	↑																												
<b>教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況</b>																																		
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「学校教育基本計画」 授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた児童生徒の割合</td> <td>%</td> <td>76.2</td> <td>77.0</td> <td>80.1</td> <td>78.6</td> <td>↑</td> </tr> </tbody> </table>							「学校教育基本計画」 授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた児童生徒の割合	%	76.2	77.0	80.1	78.6	↑																					
「学校教育基本計画」 授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた児童生徒の割合	%	76.2	77.0	80.1	78.6	↑																												

政策 07  生涯学習 ・文化	<b>政策展開の方向性</b>						
	市民が生涯にわたって、学習・文化活動・スポーツを気軽に行える場を提供し、市民が心身ともに健やかで充実した生活を営めるようになります。また、長い歴史を持つれんが産業や文化・歴史遺産を通じて、市民のふるさと意識の醸成を図ります。						
	<b>令和4年度の取組状況報告</b>						
	<b>07-01 生涯学習の充実</b>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の交流や学習活動の拠点となる社会教育施設における感染症対策の徹底を図り、安心して利用できる施設環境を維持し、多様な学習活動機会の確保に努めました。</li> <li>公民館をはじめとする社会教育施設では、生涯学習に取り組む市民や活動団体等に、安全で快適な学習環境を提供するため、「江別市公民館等長寿命化計画」「江別市情報図書館長寿命化計画」を踏まえた適切な維持補修等を実施しました。</li> <li>生涯学習事業を実施する各活動団体が自立し、主体的に活動を展開していけるよう、社会教育団体への公民館施設等使用料の減免など、活動団体の安定的な運営への支援を実施しました。</li> <li>市民の多様な学習要求に応えるとともに、市民が地域課題の解決に向けた問題意識と知識を獲得し、まちづくりに主体的に参画するための学習の場を提供するため、市内四大学と連携した「ふるさと江別塾」をオンライン配信により実施したほか、動画を視聴できる会場を開設しました。</li> </ul>						
	<b>07-02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造</b>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>質の高い文化・芸術を鑑賞する機会や幅広い活動の場を提供するため、音楽・演劇公演の開催や文化活動団体の事業に対し支援を行いました。</li> <li>「北海道林木育種場旧庁舎」の歴史的価値を広く周知することを目的として、市民や市内大学生等を対象とした歴史講座及び建物見学を実施しました。</li> <li>江別の酪農の歴史と産業を発信する施設である「旧町村農場」の大規模改修に向けて、市場調査や市民の意見を取り入れるためのワークショップを開催し、「旧町村農場保存活用整備方針」を策定したほか、整備方針に基づく実施設計を行いました。</li> <li>郷土資料館やセラミックアートセンターでは、アフターコロナを見据え、誰もが安心して利用できる施設運営に努め、企画展や展示会、各種教室・講座を開催しました。</li> <li>文化財や歴史遺産の調査成果を公表し、ふるさと江別の歴史文化遺産を正しく後の世代に継承していくため、郷土資料館ロビー展示やふるさと歴史講座などの普及事業を開催しました。</li> </ul>						
	<b>07-03 市民スポーツ活動の充実</b>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が日常的にスポーツに親しみ、充実した活動を行う機会を確保するため、体育館をはじめとするスポーツ施設の感染症拡大防止に配慮しつつ、安心して利用できる施設運営に努めるとともに、「江別市スポーツ施設長寿命化計画」に基づき、施設の適正な維持・改修整備を行いました。</li> <li>市民スポーツの環境向上と市民の健康増進を図るため、あけぼのパークゴルフ場のコース増設工事を行いました。</li> <li>令和5年度全国高校総体北海道大会が市のスポーツ振興につながるよう、市内開催競技の実施に向け、関係機関及び団体等による実行委員会設立や総会実施、競技運営費試算、令和4年度全国高校総体視察など、必要な準備を進めました。</li> <li>幅広い年齢層に対応した活動機会の提供及び地域や関係団体との連携によるスポーツ活動団体活性化のため、感染症拡大防止に配慮しつつ、活動団体への支援や軽スポーツの普及を推進するとともに、各種スポーツ教室を実施しました。</li> <li>体育施設管理団体と連携して、利用者アンケート等により市民ニーズを的確に把握し、体育施設の利便性向上と利用促進に取り組みました。</li> <li>トップアスリートとの交流により、スポーツへの関心を高め、市民スポーツ活動の振興を図るため、全日本女子ハンドボールチームの合宿の受入れや、プロスポーツチームとの連携協定の締結を行いました。</li> </ul>						
	<b>政策の成果指標</b>		<b>単位</b>	(初期値)	R2年度	R3年度	R4年度
生涯学習を通じて心の豊かさを実感している市民割合		%	33.2	24.9	26.0	26.7	↗
文化・芸術活動に参加している市民割合		%	-	22.8	20.9	26.6	↗
週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合		%	40.2	42.6	43.0	44.2	↗
<b>教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況</b>							
「社会教育総合計画」 生涯学習の機会が充実していると思う市民割合		%	72.0	64.2	67.1	62.2	↗
「社会教育総合計画」 文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合		%	45.1	42.1	40.6	35.3	↗
「スポーツ推進計画」 スポーツ機会が充足していると思う市民割合		%	76.5	65.9	69.9	63.8	↗

政策 08 協働	<b>政策展開の方向性</b>							
	江別市自治基本条例の理念に基づき、市政への市民参加を進めるとともに、市民、自治会、市民活動団体、企業、大学などの各種団体と連携して魅力ある協働のまちづくりを推進します。また、グローバルな視点に立ち、人材・団体の育成を進め、在住外国人とも協力し合うなど、国際交流を推進します。							
	<b>令和4年度の取組状況報告</b>							
	08-01 協働のまちづくりの推進							
	・友好都市高知県土佐市との都市間協力や連携強化を図るため、市民相互による交流などを推進する事業の一つとして毎年度実施している小中学生の相互交流は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前年度に引き続き中止となりました。また、両市特産品のPRなどの地域振興を柱とした事業につきましても、関係団体と協議の結果、開催を見送ったことから、再開する際には、改めて両市の友好親善を深めることを確認しました。							
	08-02 国際交流の推進							
	・国際交流を担う市民や団体の育成等を目的とした事業の一つである、姉妹都市アメリカ合衆国グレシャム市との中高生相互派遣事業は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況が続く中、両国生徒等の安全を第一に考慮した結果、前年度に引き続き中止となりました。一方で、高校生相互オンライン交流事業を実施し、異文化に触れる機会を提供するとともに、姉妹都市交流の促進を図ることで、コロナ収束後の事業再開に向けた良い契機となりました。 ・地域の国際化や国際交流の推進に大きな役割を担っている国際センターが主催する様々な交流イベントでは、技能実習生や留学生をはじめ、在住する様々な国籍の外国人の参加により、市民が多文化に触れることができ、国際理解が深まる機会となりました。 ・姉妹都市提携45周年記念事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により相互訪問が困難な状況であったことから、両市長をはじめとする関係者によるオンライン会談での記念交流を計画し、準備を進めていましたが、諸事情により中止となりました。なお、郵送にて記念品の贈呈を行うなど、両市の友好の絆を再確認する機会となりました。							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	R2年度	R3年度	R4年度	目標
	お互いの文化や価値観を理解し、外国人と交流できる市民割合		%	42.7	56.4	55.1	60.7	↗
	教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「国際交流情報提供事業」 国際交流員が携わった地域国際化のための講座・イベント等の参加者数		人	895	67	238	846	↗	

## 2. えべつ未来戦略(教育部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	
戦 略 2 安心して子どもを産み育てることができる まちづくり	②教育内容の充実 「小中一貫教育推進事業」(学校教育課) 「小中学校学習サポート事業」(学校教育課) 「GIGAスクール構想推進事業」(学校教育課) 「小中学校外国語教育支援事業」(学校教育課) 「スクールソーシャルワーカー事業」(教育支援課) 「医療的ケア児支援事業」(教育支援課)
戦 略 3 子どもから大人までいきいきと 健康に暮らせるまちづくり	

## 3. 教育部の資源

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	2,267,882	2,280,931	3,911,468	2,781,412	3,192,950
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	2,267,882	2,280,931	3,911,468	2,781,412	3,192,950
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	101.00	98.00	95.00	94.00	96.00
	平均単価 (b)	7,627	7,687	7,629	7,607	7,604
	人件費 (a×b)	770,327	753,326	724,755	715,058	729,984
総 額		3,038,209	3,034,257	4,636,223	3,496,470	3,922,934